

第5期障がい福祉計画の策定

問 基幹相談支援センターは障がい者の包括的相談の場で必須。第4期計画は未達成。第5期は、

答 人員を徐々に増やし、社協に協力求め32年度設置を目指す。

問 障がい者の高齢化で介護、福祉の両サービスが必要だが、

答 各施設が国の指定を受ければ、提供が可能になる方向だ。

介護保険条例の一部改正

問 保険税が所得に応じ12区分だが、高浜では16区分。より所得に応じたものにしては、

答 次回の検討課題とする。

国民健康保険条例の改正

問 国保の県域化で上納金はいくらか。税の応能・応益の割合は。一般会計繰り入れの考えは、

答 30年度は年額平均10万7千円。税は5年間毎年3.7%上げる。応能・応益割合は1.2対1。世帯人数が多いと割高に。国保は社会保障であり、全体で支える意味で一般会計繰り入れは必要。

知立市文化芸術基本条例

問 文化芸術基本条例の制定意義と審議会が条例中ないのは、

答 文化振興に観光、まちづくり、福祉などの分野も追加され、幅広い視野で条例制定を図る。今後、国が基本計画を示し、市も策定する際には審議会を明記。

観光交流センター条例

問 観光交流センターが設置されるが施設管理は、

答 ボランティア、ちりゅつび隊、文楽の上演などを計画。東海道散策中の休憩所になる。観光協会の体制が整うまで市直営で管理。



平成29年度一般会計補正予算

問 ほとんど減額予算。必要なものには使うべき。道路維持費の減額を歩道補修等に回しては、

答 各種事業の実施回数や該当者の有無で減額。PRする。歩道補修は応急修理で対応する。

問 耐震改修事業2千460万円残した。95%目標の進捗は、

答 耐震化率は80%。市民の意識も大切。地域に出向いて促進。

平成30年度知立市一般会計予算

問 前田排水路事業がある。住宅開発などで排水能力不足の問題が増える。台帳管理の対応は、

答 台帳管理は必要と考える。

問 こころ応援計画は自殺対策基本法改正で各自治体が策定するが、誰が誰を応援するのか。

答 国から自殺の内容分析が示された。市民みんながゲートキーパーとなり、悩んでいる人などを見守り、支援していくもの。

問 防犯カメラ設置費補助事業の新たな内容と設置主体は、

答 街頭カメラ設置は慎重に考えてきた。地域で不安の多い場所や通学路で、町内が必要性を共有できる範囲で設置できるとした。区長が責任者で、画像管理は県のマニュアルに沿って行ってもらおう。

問 小中学校での少人数学級や2学期制の検証はどうか。

答 少人数学級は小学校で保護者アンケートを実施。満足度は68%、79%、84%と毎年上がっている。質問しやすい、落ち着いた授業が行われるとの評価。2学期制は不安との回答が小学校で40%、中学校で50%と高く、議論する時期だ。

問 新生児聴覚検査の考えは。800人に1人の障がいが出ることで改善。取り組みたい。

問 知立南北線は30年度から36年度までで総事業費19億4千510万円だが、内容と財源措置は、

答 知立駅周辺整備関連事業として元国道1号線以北へ200mを7年間で整備。年平均4億円、借金90%、一般財源は10%。

問 30年度の連立事業の負担金は。名鉄発注工事の透明性確保は依然課題だ。どう考えるか。

答 都市側負担の総事業費33億9千万円で、市負担が7億6千300万円。本体工事の年度施行契約で見せる、見せないものを区分け。競争性の確保、個人情報保護条例等があり公開できない。

問 待機児童対策の内容は。

答 来迎寺児童センターの図書室に子育て支援センターを入れ、空いた場所を0、1歳児の保育室に。来年度15名定員が増える。



来迎寺児童センターの図書室